



広報リポーターの突撃取材!



春の岩手  
久慈高制す

喜びを爆発させる久慈高野球部

5月25日、野田村で春季東北地区高校野球県大会決勝戦が行われました。再三のピンチをしのぎ迎えた8回、久慈高校は“逆転の花束”のお株を奪う逆転打で花巻東高校をリード。見事3-1で大優勝旗を手に入れました。(小倉利之リポーター)



夏井中生が  
田植え体験

足元を気にしながら田植えを体験

夏井中学校(佐藤順校長・生徒82人)の1年生33人は5月18日、地元農家の方や先生の指導のもと、約5㍓の水田にもち米の苗を植えました。終了後は農家の方たちと一緒に「さんづぎ(いっぴく)」も体験しました。(梅沢政隆リポーター)

祝福されて“さらに丈夫”

中塚タカさんが100歳

5月10日、中塚タカさん(山根町)が元気に100歳を迎え、11日に山内隆文市長から長寿祝い贈呈されました。子ども、孫、ひ孫など多くの家族にも祝福された中塚さんは「本当にうれしいですね。みんなに祝ってもらえて、さらに丈夫になった気がします」と満面に笑顔を広げていました。

長女の繁田アサさん(山根町)は「感謝とうれしさがいっぱいです。この調子なら、まだ10年も大丈夫そう」と喜んでいました。

中塚さんは今も外に出掛けたり、人と話をすることが好きとのことで、もうけた11人の子どもは皆健在。健康な体は受け継がれているようです。



大好きな家族に祝福され、笑顔を広げる中塚さん(中)

子ども目線の遊び満載

ウィング☆フェスタ

グリーンピースやドリームズブロッコリーなど、中高生のボランティアグループが企画するウィング☆フェスタは5月9日、福祉の村で開かれ、約1,700人でにぎわいました。

会場にはスゴロクや国旗かるた、空気砲など、アイデアあふれる遊びが満載。なかでも色紙を切り張りして作る「母の日のカーネーションづくり」は大人気で、子どもたちはお母さんへの感謝を込めながら、色とりどりのカーネーションを作っていました。

“大好き”とメッセージ付きのカーネーションをお母さんにプレゼントした女供明日香ちゃん(小国小2年)は「きれいにできて良かったです。お母さんも喜んでくれました」とニコリ。主催したグリーンピースの繁田招会長(久慈高3年)は「子どもたちの目線で、どうすれば楽しんでもらえるかを考えて企画しています。子どもたちの笑顔を見られることが何よりうれしいですね」と、イベントの成功を喜んでいました。



上/お姉さんに教えてもらいながら、楽しくカーネーションづくり  
右/中高生が手づくりした遊びに親子で夢中



憲法に理解を深める

憲法記念日にイベント

憲法記念日の5月3日、やませ土風館で憲法タウンミーティング2010 I Nいわて(日本青年会議所東北地区岩手ブロック協議会主催)が開かれました。

約100人の参加者は○×クイズや討論会などを通して、憲法や5月18日施行の国民投票法などに理解を深めました。



久慈高生2人も参加して討論会



大西くん(左)と母の亜希子さん

130万人目に認定証

もぐらんぴあ入館者

5月1日、もぐらんぴあの入館者130万人目となった大西成二くん(侍浜小3年)に、山内隆文市長と日本地下石油備蓄(株)久慈事業所の大藤友詳所長から認定証や図書券などが贈られました。

大西くんは「もぐらんぴあは魚がたくさんいて大好き。また遊びに来たいです」と喜んでいました。

三鉄駅間の魅力PR

ウォークマップ制作

やませデザイン会議(田中卓議長)は久慈広域観光協議会などと協力し、三陸鉄道北リアス線駅間の魅力のスポットをまとめた「さんてつ駅結びウォークマップ」を制作。4月30日、三陸鉄道の金野淳一運行本部長に贈呈しました。

マップは三鉄各駅に備え付けてあります。どうぞご覧ください。



金野本部長(左)と田中議長



隊員の見本演奏に聞き入る生徒

指導を受けて表情充実

自衛隊が演奏指導

航空自衛隊北部航空音楽隊(佐藤義政隊長)は5月14日、久慈東高校で、同校と久慈高校の吹奏楽部員85人に演奏指導を行いました。パートごとに分かれた生徒は、隊員から丁寧な指導を受け、充実した表情を浮かべていました。

同隊は翌日、アンバーホールで演奏会も開催しました。

子どもに夢と希望を

みち銀労組から児童図書

4月22日、みちのく銀行労働組合(山内雅史執行委員長)は児童図書購入用として10万円を市に寄付しました。杉本昭仁書記長は「子どもたちに少しでも夢と希望を与えられればうれしいです」と話していました。

同組合は職員の募金をもとに平成8年から寄付を続けています。



山内隆文市長に目録を手渡す杉本書記長(右)



イワナ焼きを手伝う畠山くん(中)

もてなしの喜び実感

水車まつり

水車まつりは5月2日、桂の水車広場で開催。山根中学校の生徒6人も地域の人たちと一緒に来て場者をもてなしました。

イワナ焼きを手伝った畠山大地くん(3年)は「炭が熱くて大変。でもお客さんに喜んでもらえるとうれしいです」と、もてなしことの喜びを実感していました。